



MU レーダー—般公開のご案内

京都大学超高層電波研究センターでは、滋賀県甲賀郡信楽町に設置されている MU レーダーの一般公開を、1994年11月12日（土）午前10時から午後4時に行いますのでお知らせします。

MU レーダーは、直径約100mの円形アレイ・アンテナを備えた周波数46.5 MHz の大気観測用レーダーです。1984年11月の完成以来、最先端の電子技術を駆使して高度500 km までの地球大気の動きを観測しています。一般公開では、MU レーダー装置の見学を中心に、地球環境問題に貢献するレーダー技術の展示を行

います。

MU レーダーへの交通は、信楽高原鐵道・信楽駅から自動車で約15分(国道422号線を上野市方面へむかって進み、滋賀-三重県境手前約1 km を左折)。当日は信楽駅から送迎用のマイクロバスを運行します。MU レーダー内に食堂・売店などはありません。またスリッパなどを持参のこと。問い合わせは、電話(0748)82-3211 京都大学超高層電波研究センター信楽 MU 観測所・山本まで。

(京都大学超高層電波研究センター)

編集後記：今年の夏の東京は、本当に耐えがたいような猛暑でしたが、皆様はいかがお過ごしになりましたでしょうか。暑いのは不快ですが、ここ数年冷え込んでいた景気にとっては「恵みの暑さ」になったようで、特に清涼飲料水、エアコン、夏物衣料など季節物の業界は昨年とは打って変わって活気があふれたようです。私も、例年よりもビールを消費しまして、僅かながらも日本経済の活性化に貢献できたと自負しております。

昨年、今年と「異常気象」が続いたせいか、最近、長期予報がトップニュースに近い扱いで報道されることが多いような気がします。また、8月には気象予報

士の試験が初めて実施されたこともありまして、気象学が社会的な関心を集めた夏だったと思います。

さて、私は終わりに近づきつつある「研究機関めぐり」の担当なのですが、先日、会員の所属する研究機関のリストアップをしてみました。気象学を活かす分野の機関も多数あり、学会員の層の厚さを感じました。とはいえ、現時点では経済などの社会科学系の研究機関は少数でしたが、気象学会の裾野がますます広がった暁には、この方面の研究者の方々のお話も是非伺いたいものです。

(山本 佳緒里)